



2 Years to Go!!

市は 2025 大阪・関西万博を応援します！

4月13日、2025大阪・関西万博の開催まで2年の節目を迎えました。市は、万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」の実現につなげるため、誰もが生涯にわたって心身共に健康で豊かな生活の実現につながる活動や取り組みを推進しています。来たる2年後の2025年4月、大阪・関西万博の開幕に向けて、未来の暮らしを一緒に創りましょう！



約3,000本の 綺麗なチューリップたち

ふれあいの散歩道と大和公園に約3,000本のカラフルなチューリップが満開に咲き誇りました。昨年11月13日に大和町自治会の主催によりチューリップの球根植え付け作業が行われ、近畿富山県人会、近隣地域有志の皆さんと市で協力し植え付けられた球根は、花壇を華やかに彩りました。



どこにでもドア 今日はどこにあるかな？

寝屋川公園に、どこかで見覚えのあるドアが登場。その名も「どこにでもドア」。映え写真撮影用の小道具として利用してほしいとの思いから設置されました。同公園管理事務所の田中さんは「どこにでもドアは、季節やイベントに合わせて公園内のフォトスポットへサプライズで登場します。見つけて写真を撮って楽しんでほしいです」と話してくれました。



卒業おめでとう

市内小学校で卒業式が行われた3月17日、成田山不動尊の駐車場に巨大卒業証書が設置され、卒業生たちは写真撮影を楽しみました。縦1.8m横2.7mの巨大な証書は、小学校1年生～5年生が作ったメッセージや折り紙の桜で飾られています。制作した市立第五小学校おやじの会のメンバーは「子どもや保護者に喜んでもらえればと思い計画しました。来年以降も続けたい」と話してくれました。

優秀な成績を収めた皆さん



古崎泉さん (市立中木田中学校3年)

OUSA The PEAK 2023出場



クリーンセンターの ストックヤードが運用開始

3月からクリーンセンターにおいて古紙などの資源物や災害廃棄物の一時保管に対応するストックヤードの運用を開始しました。この施設は、過去に実施した市民アンケート調査結果を踏まえ、焼却処理量の抑制と再資源化の促進を目的に整備しました。今後、発生するといわれる南海トラフ巨大地震などに伴い、大量の災害廃棄物が生じた際の一時保管場所としての活用が想定されています。



カキドオシ

東部丘陵地は花盛り ～食べられる山野草も～

東部丘陵地は春真っ盛り。ピンクのレンゲソウなどが咲き誇っていますが、ちょっと歩けば食べられる山野草も見つけることができます。薄紫色の花を付けているカキドオシ=写真左=もその一つです。シソ科の植物で香りもよく、繁殖力は旺盛。地を這(は)うように伸びる茎や葉はお浸しや和え物、天ぷらにいろいろな食べ方があります。聞いたことがある人も多いクサイチゴ=写真右=。



クサイチゴ

「草」の名前が付いていますが、木になるキイチゴの仲間です。5月頃まで白い花を咲かせ、6月頃には甘酸っぱい真っ赤な実を付けます。寝屋川市自然を学ぶ会のメンバーは「食べられる身近な野草や果実は意外に多く、初めての人は植物に詳しい人と一緒に歩いて見つけてください」と春の散策を勧めています。



4年ぶりに
開催

ねやがわパーク事業

桜と光の舞い

3月24日～26日の3日間、打上川治水緑地で開催された桜のライトアップイベント「寝屋川パーク事業～桜と光の舞い～」は延べ約25,000人が訪れ、大盛況のうちに終了しました。

参加された皆さん、ありがとうございました。

問 産業振興室 (☎828・0751)



● ● YOUTUBEで
動画を公開しています ● ●
右のQRコードから見るすることができます。

